

introduction



刊行にあたって

歯科衛生士に求められることは時代の変化によって変わってきます。ご存知のように日本は超高齢社会です。つまり、高齢者が抱える問題点の解決といったものも、通常の臨床場面で求められることが普通になっていくわけです。

本書では、そのような患者さんを目の前にしたときにどのように考え、対応すればよいのかなどを大きくまとめてみました。大まかに考えると、外来に通院される患者さんと、訪問診療で対応する患者さんがいると思います。外来に通院される患者さんを診るときにも、“口”以外のことをよく知っておくことが大切です。主にそのような臨床場面で働かれている方は第1章をお読みください。そうではなく、施設や在宅などでの診療が多い方に参考になる部分は第2章にまとめてあります。その他、特別な状況への対応や、対応の実例など、実際の臨床場面で役に立つ内容は第3章、第4章にまとめております。

本書を通して、高齢者医療がより身近なものになれば幸いです。

2014年8月
編集委員 戸原 玄